

高知放送

活動名	高知放送メディアリテラシー授業 2025
実施期間	令和 7 年 7 月～令和 7 年 11 月
実施回数	学校訪問 1 回・社内見学時 3 回

【実施学校】 北川村立北川小学校、日高村立日下小学校、南国市立岡豊小学校、
高知市立横内小学校

【事業実施の成果・課題】

＜出張授業について＞

近年テレビが「オールドメディア」と揶揄される中、SNS の情報と比較してファクトチェックが担保された信頼性の高いメディアであることを知ってもらえたことが成果としては大きいと感じた。さらに授業の様子をテレビニュースとして取材し、現場で取材する記者やカメラマンの仕事の様子も見学してもらえなど、地上波離れが進む中でテレビメディアという仕事について、子どもたちに関心を持ってもらえたと思う。また今年は高橋生アナウンサーが授業を行ったことで、高知放送についても親しみを感じてもらえたと思感する。「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」という公共メディアの果たす役割を、「ニュースができるまで」という VTR 教材を使うことで、子どもたちに楽しく学んでもらえた。

＜社会見学について＞

小 5 社会「放送などの産業とわたしたちの暮らし」の授業の一環として放送局への見学の要望があり、高知放送ではこうしたニーズに応えるためにこうした社会見学を受け入れている。まずは民教協制作の「ニュースができるまで」を見て報道という仕事について学習してもらった。その後、報道フロア・スタジオ等を見学してもらった。することでより深く放送について理解してもらうことができた。

【事業担当者・講師の感想】

＜コンテンツ部 高橋生アナウンサー＞

VTR「ニュースができるまで」は、どうやってニュースが作られて、視聴者に向けて放送されるのかがわかりやすく解説されていて、動画を通して信頼性が保たれたテレビ局の仕事を理解してもらえたと思います。また放送委員会と給食委員会という、校内放送を受け持つ子どもたちにアナウンサーとして、普段「伝える」上で心がけていることを直接伝えられたのはわたしにとっても大きな収穫になりました。

＜総務部 澤村徹＞

今まで会社見学において、パワーポイントを用いた資料を作り「ニュースができるまで」を説明していましたが、理解度が低く、遠足のような雰囲気になっていました。昨年に引き続き、動画を用いること

でメディアリテラシーというものを分かりやすく理解してもらうことのできる内容で、大変助かりました。内容として面白く惹きつける内容でしたので集中して視聴し、理解度が格段に上がりました。SNS などのネットに溢れる情報と放送局から発信する情報（速報性・正確性・公平性・公正性）は本質的に異なるということを深く学んでいただいたと感じております。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

第1回 北川小学校

<舟木真乃教諭>

実際に社内を見学してスタジオ見学ではアナウンサーやディレクターの役になりきることが出来たり、報道フロアや映像の編集作業も見せていただけてたりして、とても充実した時間になりました。

< 5 年生児童 >

- ・ビデオを見せていただき、「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」この4つを大切にされているということが分かりました。私たちはニュースを見て、正確な情報を知れているんだということが分かりました。
- ・ニュースをお届けするときに大切な4つのことをしっかり覚えめました。私は今、学校の係活動でニュース的なものをやっているの、そこで活かせたらなと思いました。
- ・RKC の中にはたくさんの人がいて仕事をしていました。その後お話やビデオを見て勉強しました。その話の中で、公共性や速報性などアナウンサーになるなら、必ず覚えないといけない大切なことを知れてよかったです。

第2回 日下小学校

<松本勇輝教諭>

ニュースの作り方について、動画を見させていただき、見学にも分かりやすい内容をしており大変よかった。興味がわくように作られていて良かった。

< 5 年生児童 >

- ・いつもわたしが見ている画面の向こうにある場所に行けて楽しかったです。あの場所で放送するのはとても大変だと知りました。1つのニュースを作るのに、いろいろな人と協力しなければならないことも知りました。
- ・報道記者はネタを見つけ、その現場に行き目撃者に話を聞くなどして放送していたので大変だと思いました。大きくなったら RKC に入社したいと思います。
- ・いままで見ているニュース番組は放送されるまでにたくさんの人が協力していることを知りました。CG を使ったり、字幕をつけたり、音を調整したり、色々なことを行っていたのでびっくりしました。

第3回 岡豊小学校

<谷口忠大教諭>

高知放送の歴史や、仕事内容、各部署の担当業務や心構えなどについて、紙媒体の資料だけでなく、パワーポイントの資料や自社制作の動画などを使って子どもたちにも分かりやすく教えて頂きました。実際のニューススタジオの見学の際も、終始子どもたちの興味を引くような説明をして頂き、充実した時

間を過ごすことができました。今回の見学で学んだことは、子どもたちがこれから3学期に学ぶ「情報を伝える仕事」(社会科)を学習する際につながってくると思います。このような機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。

< 5年生児童 >

- ・ニュースを放送する時には、絶対にうその情報を流してはいけないことが分かりました。
- ・ニュース番組を作るときには、「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」の4つが大事だということが分かりました。
- ・放送局では、たくさんの人が仕事を分担しながら、それぞれの責任で、放送を見てくれる人のために働いていることが分かりました。
- ・事件や事故が起きた時には記者やカメラマンが現場に行って、実際に自分の目で確かめたり目撃者に取材をしたりして、何が起きたのかを間違わずにニュースにして放送していることが分かりました。
- ・これからニュースを見るとときには、番組を作っている人のことも思い出し、何を伝えたいのかを考え、今までよりも真剣に見るようにしたいと思います。

第4回 横内小学校

< 5年1組 河野さおり教諭 >

情報化社会で生活している児童が学ぶべき大切な事を知ることができました。これから社会科で「未来とつながる情報」を学習していく上で、改めて情報とは何か、暮らしの具体的な場面で考えていくきっかけとなりました。子どもたちにレクチャーして下さったり、分かりやすい説明をして下さったおかげで、ニュースを身近に感じた児童も増えたと思います。

< 5年2組 竹田周平教諭 >

実際の放送現場で活躍されている方から学べたことで、情報の受け取り方や発信する場合の注意点について、子どもたちはより深い理解を得ることができました。また、数名の児童には、放送の際の声の出し方まで丁寧にレクチャーしていただき、プロの視点に触れられたことは大きな刺激となりました。

< 5年3組 大北咲子教諭 >

テレビの中でしか見たことがない本物のアナウンサーさんやカメラマンさんなどと直接お会いし、お話をさせて頂いて、子どもたちはとても喜んでいました。これから社会の学習で情報について学んでいく予定ですが、プロのお話は学習のモチベーションになると思います。高橋生アナの「うそをつかない、人を傷つけない。」という言葉に感銘を受けました。人として大事な部分を大切にしているからこそ、分かりやすいニュースを伝えることができるんだなと思いました。

< 5年生児童 >

- ・私は、高橋生さんのお話を聞いて、テレビアナウンサーとして大切なことが4つあると分かりました。1つ目は速報性、2つ目は正確性、3つ目は公平性、4つ目は公共性です。私は家でよくテレビやニュースを見るので、これからは今日聞いたことを気にかけて見てみたいと思いました。
- ・普段あたり前のように見ているニュース番組は、実は裏でたくさんの人が支えていることを知り、これからニュース番組を見るときは、そういった人たちのことも考えながら見ようと思いました。

- ・ニュースでは、事件や事故などの詳しい情報を正確に伝えることが大事だと知りました。また、ニュースを読むときはイントネーションに気をつけると聞く人にも分かりやすいことが分かりました。
- ・私は放送委員会なので、今日教えてもらったことを生かして放送したいです。また、放送するときは情報が本当かどうかを確かめてから伝えることが大切だと分かりました。
- ・私はアナウンサーの大変さや意識していることを学びました。ビデオを見て、速報性・正確性・公平性・公共性という言葉を知りました。私はよく家族でニュースを見るので、これからはアナウンサーってすごいよね、と話しながら見たいと思いました。
- ・今日はメディアリテラシーを学んで「見極める・判断する・マナーを知る」ことが大切だと分かりました。取材をするときは、カメラマンが音声を調節して聞き取りやすくしていること、テレビニュースには速報性・公共性・公平性・必要性があることも知りました。
- ・今日の授業を体験して、改めてインターネットの怖さを知りました。また、放送のときに「前に友だちがいると思って読む」とよいことが分かりました。来週の放送では、今日学んだことを生かしてもっとよい放送ができるように心がけたいです。
- ・ぼくは高橋生さんのメディアリテラシーを学んで思ったことが二つあります。一つ目は、高橋生さんはニュースを読むだけでなく、情報をすばやく知ってニュースや中継をしているところがさすがアナウンサーだなと思いました。二つ目は、速報性や要性を意識してアナウンサーをしていて、表記に間違いが出ないようにしているのがすごいと思いました。
- ・いつもニュースを見ていたけれど、あまり考えずに見ていました。今日の授業で、もっと考えてニュースを見たいと思いました。ニュースのことをいっぱい知って、ニュースを見るのがもっと楽しみになりました。
- ・私は、高橋生さんにしてもらったメディアリテラシーの授業ですごいなと思ったことがあります。一つ目は、アナウンサーは毎日うそをつかないようにしていることです。毎日正確なニュースを伝えていて、うそをつかないようにする心がけがすごいと思いました。
- ・私は今日、高橋生さんのお話を聞いて分かったことが二つあります。一つ目は、テレビニュースに必要なことで、速報性・正確性・公平性・公共性の四つが大切だということです。二つ目は、聞き手に伝わる話し方です。放送などで直接、面と向かって話さないときは、目の前に聞き手がいると思ったらいいて教えてくださいました。今日のおかげでニュースに興味を持てたので、もっとテレビニュースについて調べていきたいです。
- ・今日、高橋生さんのテレビ局の勉強をして、思ったことがあります。ニュースのときは、少しでも大げさにしたらいけないということが分かりました。
- ・私は高橋生さんのお話を聞いて、ニュースで情報を伝えるときは、話し方も大切だと分かりました。やさしく伝えたり、地震や警報のときには「〇〇してください」とはっきり言えることがすごいと思いました。今日のお話はとてもいい機会になりました。
- ・私は今日の高橋生さんの話を聞いて、「正確さ」を持とうと思いました。正確さはアナウンサー以外でも使えるので、自分も正確さを持って生活していこうと思いました。正確さを持つことで信頼されるし、みんなからも信頼されるからいいと思いました。
- ・私が今日分かったことは、取材する人は本当のことかどうかを調べないと、うそを伝えてしまうから、しっかり調べてから取材するということです。そしてアナウンサーは、イントネーションの辞典を見て話していること、危ないことを撮影するときは窓越しや遠くから撮影することが分かりました。
- ・私は今日の学習で、メディアリテラシーが何かを知ることができました。速報性などの四つのことも

ることができて良かったです。メディアリテラシーは、間違いなく情報を正しく得ることだと分かりました。私はSNSを見ることが多いので、うその情報を見たときは、ちゃんと自分で調べることを気をつけたいと思いました。

- ・私は今回のメディアリテラシーの授業で、テレビを放送するには速報性・正確性・公平性・公共性が大切だと思いました。アナウンサーの高橋生さんに説明していただき、アナウンサーの仕事は大変だけれど、とてもやりがいのある仕事だと感じました。また、話し方について講演してもらい、今度友だちと話すときに参考にしてみたいと思いました。インターネットにはうその情報や危険な情報もあるので、ふりまわされないように正しく使いたいと思いました。